

平成25年度  
第2回高松市国分寺地区地域審議会  
会 議 録

と き：平成25年11月21日（木）

と ころ：国分寺会館2階会議室

平成25年度 第2回高松市国分寺地区地域審議会 会 議 録
-------------------------------------

1 日時

平成25年11月21日(木) 午後2時開会・午後3時55分閉会

2 場所

国分寺会館2階会議室

3 出席委員 15人

会 長	土 井 信 幸	委 員	丸 山 眞寿美
副会長	中 山 美恵子	委 員	□ 井 清
委 員	安 部 文 代	委 員	小 松 澄 男
委 員	川 染 節 江	委 員	塩 崎 孝 博
委 員	佐々木 英 典	委 員	末 澤 進
委 員	塚 田 昇	委 員	平 岩 久
委 員	豊 嶋 敦 子	委 員	藤 本 稔
委 員	新 居 幹 子		

4 欠席委員 なし

5 行政関係者 21人

市民政策局長	加 藤 昭 彦	市民政策局次長	地域政策課長事務取扱
政策課主幹兼政策課男女共同参画推進			東 原 利 則
室長	多 田 安 寛	地域政策課長補佐	水 田 浩 義
		地域政策課地域振興係長	
			黒 川 桂 吾

人事課主幹	松崎充宏	都市計画課計画係長	大野宏樹
総務局次長危機管理課長事務取扱		都市計画課主任技師	谷口紗代
	河西洋一	都市整備局次長道路課長事務取扱	
危機管理課長補佐	西吉隆典		石垣惠三
保健所生活衛生課長補佐		道路課長補佐	大高和
	奥平剛	道路課改良係長	細川昌彦
環境局次長環境総務課長事務取扱		消防局予防課長	山本公人
	小路秀樹	消防局予防課長補佐	東秀紀
土地改良課長補佐	安德澄雄		
土地改良課副主幹	中妻英明		
都市計画課長補佐	中谷厚之		
都市計画課長補佐	岡田光信		

## 6 事務局

支所長	谷本裕巳	管理係長	石田真二
支所長補佐	宮武和弘	副主幹	宮武昌広

## 7 オブザーバー

高松市議会議員	森川輝男
高松市議会議員	西岡章夫
高松市議会議員	落合隆夫

## 8 傍聴者 なし

## 会 議 次 第

### 1 開 会

### 2 会議録署名委員の指名

### 3 議 事

#### (1) 報告事項

ア 建設計画に係る平成24年度事業の実施状況について

#### (2) 協議事項

ア 建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見に対する  
対応方針について

### 4 その他

### 5 閉 会

午後2時 開会

## 会議次第1 開会

○事務局（宮武和） ただいまから、平成25年度第2回高松市国分寺地区地域審議会を開会いたします。

委員の皆様方におかれましては何かと御多忙のところ、御出席をいただき、誠にありがとうございます。

議事に入りますまでの間、本地域審議会の事務局として私、宮武が進行させていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

開会に当たりまして、土井会長より、御挨拶を申し上げます。

○土井会長 地域審議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、会議に御出席いただきまして誠にありがとうございます。また、加藤市民政策局長を始め、本日御出席いただきました市職員の皆様には、遠路、お越しいただき深く感謝申し上げます。

さて、月日が経つのも早いものであり、来年の1月10日で、高松市との合併8周年を迎えようとしています。

この間、委員の皆様、また、地元関係者ならびに市当局の御尽力により、国分寺地区建設計画に基づき、地域における様々なまちづくり事業が実施されておりますことは、会長として大変うれしく思います。

そのような中、今年の4月18日に開館いたしました高松国分寺ホールにつきましては、週末の休日を中心に、多数の方々に利用されているようであり、当初の建設目的でありました、国分寺地区や高松市西部地域の文化活動の拠点施設になっているようでございます。

それから、国分寺支所の状況でございますが、平成26年度中の開館が予定されております高松市公文書館(仮称)の整備工事が、現在、2階で行われています。また、現在、検討されております、高松市地域行政組織再編において、国分寺支所が西部南地区の総合センター(仮称)への候補施設ということも考えられることから、今後、更に、支所機能が充実していくものと期待しております。

また、その他の各種事業についても、本日の会議資料にありますように、順調に進んでいるところでございます。

なお、本日は、平成24年度の国分寺地区の事業実施状況および先般7月19日に提出

いたしております、建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見に対する今後の対応等について、この後、各担当局課から、説明いただくこととしております。

どうか、各委員の皆様には、これらの内容について、忌憚ない御意見を賜りますようお願い申し上げますとともに、市各担当局課においては十分に御検討をいただき、よりよい方向に向けた対応をとっていただきますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが開会の御挨拶といたします。

○事務局（宮武和） ありがとうございます。それでは、議事に入ります前に、会議の進行等について注意事項なり、お願いをいたしておきます。

合併協議において、本地域審議会の会議は公開することとなっており、傍聴につきましては、傍聴内規を定めておまして、本日の会議につきましてもこの内規に沿って、傍聴をいただいておりますので、よろしく願いいたします。

また、本地域審議会の会議につきましても、会議録を作成することとなりますので、御発言をされる場合には、まず、議長の許可を得た後、誠に恐れ入りますが、お手元のマイクのスイッチを押していただき、お名前を先に申し出ていただいてから、御発言をされますようお願いを申し上げます。

それでは、以後の進行につきましては、本審議会設置並びにその組織及び運営に関する協議第7条第3項の規定により、土井会長に、会議の議長をお願いいたします。

## **会議次第2 会議録署名委員の指名**

○議長（土井会長） まず、会議録署名委員さんを指名させていただきたいと存じます。

会議録署名委員には、本審議会の名簿順にお願いしておりますので、本日は、小松澄男委員さん、塩崎孝博委員さんのお二人をお願いいたします。よろしく願いいたします。

次に、本日の委員の出席状況でございますが、15名の委員全員の出席となっており、本審議会協議第7条第4項の規定によりまして、会議は成立いたしております。

## **会議次第3 議事**

○議長（土井会長） それでは、これより議事に移りたいと存じます。

本日の議事でございますが、次第のとおり報告事項1件、協議事項1件の案件がございます。まず、(1)の報告事項から、順次担当局課より説明をいただき、説明終了後に、御

質問と御意見をおうけしたいと思います。

なお、時間の関係もございますので御質問と答弁につきましては、簡潔にお願いいたします。では、(1)の報告事項ア、建設計画に係る平成24年度事業の実施状況について、地域政策課からお願いいたします。

○東原市民政策局次長 地域政策課の東原でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。私以降職員の説明につきましては、こちらの席で、座って説明させていただきます。

それでは、報告事項アの建設計画に係る平成24年度事業の実施状況につきまして、説明させていただきます。

お手元に、A3サイズの資料が2種類あると存じますが、その内、資料1の建設計画に係る平成24年度事業の実施状況調書（国分寺地区のみの事業）をお願いいたします。

この資料でございますが、一番左側のまちづくりの基本目標として、連帯のまちづくりから参加のまちづくりまで、5つの基本目標ごとに、施策の方向、施策項目、事業名、24年度事業の実施状況を記載し、24年度の予算現額と24年度の決算額を対比させるとともに、25年度へ繰越した事業については、その額と事業の概要を記載しております。

時間の関係もございますので、逐一の説明は省略させていただきますが、主な事業の24年度決算額を申しあげますと、まちづくりの基本目標の連帯のまちづくりでは、精神障害者福祉の推進といたしまして、精神障害者共同作業所「おへんろの駅こくぶ」の運営助成に518万円、特別保育といたしまして、障がい児保育・地域子育て推進事業などに519万9千円、人権教育の推進といたしまして、みんなで人権を考える会2012・市民講座・研修会の開催などに487万6千円などがございます。

次に、循環のまちづくりでは、水道管網の整備として、老朽ビニル管の更新・配水管の布設などに、8,055万7千円、下水道汚水施設の整備（西部処理区）といたしまして、汚水管渠工事などに、4,727万6千円、合併処理浄化槽設置整備事業といたしまして、49基の浄化槽設置助成に、2,176万1千円などがございます。

次に、連携のまちづくりでは、学校施設の整備といたしまして、国分寺北部小学校外壁改修に、2,180万円、幼稚園の整備といたしまして、国分寺南部幼稚園遊戯室天井改修に、790万1千円、高松国分寺ホールの整備といたしまして、建設費用に、8億8,360万1千円、讃岐国分寺跡資料館の運営といたしまして、史跡まつりの開催・各種教育普及事業の実施などに、966万4千円、特別史跡讃岐国分寺跡・史跡国分尼寺跡保存整備といたしまして、国分寺跡・国分尼寺跡史跡地の保存事業などに、2,244万9千

円でございます。

次に、交流のまちづくりでは、松くい虫の防除に、830万3千円、国分寺町まつりの開催といたしまして690万円の事業補助、市道の整備といたしまして、塔原空路線・南部中央線などの整備に、4,236万5千円、国分寺町コミュニティバス運行事業といたしまして、運行に対する補助金として、1,087万3千円でございます。

次に、参加のまちづくりでは、国分寺北部コミュニティセンターの耐震補強等工事に、6,020万5千円でございます。

以上、連帯のまちづくりから、参加のまちづくりまでの決算額を合わせまして、総額で、12億5,295万8千円を24年度において執行いたしましたものでございます。

また、右の端の25年度への繰越額の欄に記入のある事業につきましては、24年度内の事業の完了に向けて、鋭意、取り組んできましたが、結果として、どうしても年度を繰り越して、事業の実施を図る事情が生じたものであり、予算を25年度に繰り越したものでございまして、その総額は、1億2,112万6千円となっております。

以上で、平成24年度事業の実施状況の説明を終わらせていただきます。よろしくお願ひします。

○議長（土井会長） どうもありがとうございました。以上で、建設計画に係る平成24年度事業の実施状況（地区のみの事業）についての説明が終わりました。

ただいまの報告事項アの説明に関して、御質問、御意見等ございましたら、御発言を願ひします。

○平岩委員 はい。

○議長（土井会長） はい、平岩委員。

○平岩委員 平岩です。以前にもお聞きしたと思いますが、下水道本管への接続率については、下水道料金が高いということもあり、そのことも関係していると思います。

そこで、国分寺地域における下水道供用区域での接続の割合は、どのぐらいになっていきますか。

○東原市民政策局次長 地域政策課の東原でございます。申しわけございません。本日、下水道の担当課がまいっておりませんので、ただいまの御質問につきましては、改めて確認した上で、御報告させていただきます。

○平岩委員 そうすると、家庭内の引き込み工事をやっていないということは、下水道の料金が高いからではないでしょうか。もう少し料金を低くして、多くの方に利用していた

だけることを考えてはどうでしょうか。

○議長（土井会長） はい、地域政策課長。

○東原市民政策局次長 これらのことは、御意見として下水道の担当課に報告し、後日、御返答させていただきます。

○議長（土井会長） よろしいですか。他にございませんか。はい、末澤委員。

○末澤委員 末澤です。南部中央線についてお聞きします。前回6月4日の審議会において、橋台2台と歩行者の迂回路については、今年度中に発注されるとお聞きしています。私はその後、地元の人と地域を巡回しましたが、工事は、まだ、始まっていませんでした。本当に25年度末の来年の3月31日までに実行されるのでしょうか。何か支障があるのですか。そのあたりのことについて、説明をお願いします。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○石垣都市整備局次長 道路課です。南部中央線につきましては、第1回の地域審議会の段階では、今年度の発注を予定しておりました。しかし、河川内、河川の東側の橋台については、河川管理者の香川県との協議や南部小学校の附属建物の解体工事があり、これらが整い次第、26年度と27年度に実施する予定です。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○末澤委員 東原次長さん、南部小学校の附属建物の解体工事は、25年の年度末までに終わりますか。それとも、26年度にずれていくのですか。

○東原市民政策局次長 地域政策課の東原でございます。今おっしゃっていただいた北側の建物の解体は25年度、今年度内に解体は終了いたします。

○議長（土井会長） 他にございませんか。はい、塩崎委員。

○塩崎委員 塩崎です。市道子烏線の整備については、以前にもお聞きしました。

この路線については、旧国分寺町時代に町道と認定し、設計と土地の買収も終了しています。しかし、実施状況調書にも入っていませんし、その後どうなっていますか。25年度以降に工事が始まるのですか。そのあたりのことについてお聞きします。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○石垣都市整備局次長 道路課でございます。資料1は、24年度の決算状況をお示ししています。子烏線は、25年度の当初計画として設計等を予算計上していますが、その前段となる周辺の方の同意をいただいていないのが現状でございます。

○議長（土井会長） 他にございませんか。はい、□井委員。

○□井委員 □井です。前回6月4日の第1回審議会において、市道北谷端岡線の300メートルの測量設計の説明がありましたが、この部分が、いつの着工になるのかということをお聞きしたいと思います。

それというのも、聞くところによると、都市ガスの四国ガスが、ガス管の埋設をしたいという話があるようです。せっかくきれいに舗装されても、すぐに、ガス管の埋設工事にならないのかと心配しているところです。そのあたりのことについて、お聞きします。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○石垣都市整備局次長 道路課でございます。当初予算において、北谷端岡線の測量設計の予算計上をいたしております。これについても、地元との調整が十分取れていないということで、まだ、具体的な話にいたっていない状況でございます。

また、四国ガスがこの区間にガス管を埋設するということは承知していなかったのですが、この話がまとまっていないので、すぐに動ける状況ではないと思っていますので、整合性が取れないということでもありません。

いずれにいたしましても、この件について情報をお持ちであれば、後で教えていただきたいと思えます。以上です。

○議長（土井会長） 他にございませんか。はい、末澤委員。

○末澤委員 末澤です。JR端岡駅周辺整備事業については、見通しが、大変厳しい状況であると思えます。

ここに、JR端岡駅北口整備検討協議会の役員名簿がありますが、北口整備については、この役員らを窓口に行っているのですか。それとも、沿線の地権者に話をされているのですか。そのあたりのことについて、聞かせてください。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○岡田都市計画課長補佐 都市計画課の岡田と申します。JR端岡駅周辺整備については、当初、南側に新しい改札口を設置していこうということでした。しかし、話がうまくまとまらず、まずは、北側から進めていったらどうかということになり、平成21年度に設置されましたJR端岡駅周辺整備検討協議会の下部的な組織として、北口の整備検討協議会が設置されているところでございます。

具体的な事業内容につきましては、市と協議会が連携を取りながら、検討を進めているところでございます。以上でございます。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○末澤委員 それでは、北口整備のビジョンについては、市と整備検討協議会のどちらが主になって検討しているのですか。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○岡田都市計画課長補佐 都市計画課の岡田と申します。基本的には、整備計画の案につきましては、協議会の方からの発案という形を取っています。

実際には、協議会が詳しい図面を描くということは、現実的には難しい面もありますので、簡単な図面については、市の方で書かせていただいている状況でございます。以上でございます。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○末澤委員 以前は、専門家が入ってアドバイスをを行うと答弁されていましたが、専門家からの実現可能なビジョンの提案はありましたか。

○岡田都市計画課長補佐 都市計画課でございます。アドバイザー制度については、道路の配置や道路の構造について、技術的なアドバイスをいただくということで、派遣制度を設けているものでございます。

北口については、現在の端岡駅の北口周辺に回転広場を設置していこうという内容でございます。現在のところは、アドバイザーを派遣するのではなくて、位置的なことはある程度考えられますので、まずは、そちらの方の調整を行ってから進めたらということなので、そちらの方を進めています。以上でございます。

○議長（土井会長） 特に御発言が無いようでございますので、次に、(2)協議事項アの建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針について、最初に地域政策課より全体説明をいただき、その後、対応調書の資料に沿って、各担当局課より、順次、説明をいただきます。

なお、説明は事前配布しております資料2、建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見に対する対応調書の掲載順に行うこととし、最初に、1番の井戸の整備促進事業から3番の「讃岐国分寺跡」周辺の景観形成までの説明と質疑を行い、その後、4番の県道中通線の拡幅整備から6番の国分寺支所の総合センター（仮称）化への推進についてまでを行います。

また、時間の関係もございまして御質問と答弁につきましては、簡潔にお願いいたします。それでは、東原次長さんの方から全体説明をお願いします。

○東原市民政策局次長 地域政策課の東原でございます。協議事項アの建設計画に係る平

成26年度から27年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針につきまして、説明をさせていただきます。お手元の、資料2をお願いいたします。

この対応調書につきましては、本年6月4日に開催されました第1回地域審議会で提出をお願いしました、建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針を整理したものでございます。

それでは、項目順に従いまして、それぞれ所管をしております担当局課から、説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○小路環境局次長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○小路環境局次長 環境総務課の小路です。よろしくお願いいたします。項目番号1、井戸の整備促進事業についての対応方針を御説明させていただきます。

本市では、高松市水道事業および塩江簡易水道事業の給水区域外の区域に居住する方に対しまして、自家用給水装置を新設または改修するための費用の一部を、一定の要件を満たした場合について、補助を行っております。この補助制度は、あくまでも、給水区域外に居住の方に対しまして、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図るための制度であり、給水地域での補助は考えておりません。

また、井戸はその所有者・設置者が責任を持って管理し、井戸水を使用いたしますことから、水質検査は設置者自らが実施することになります。井戸水の水質は、周辺環境の影響をうけやすく、安心して使うには定期的な検査が必要とされていますが、特に、渇水時や震災時には、水質は変化しやすく、前もって検査をしても、使用時には変化して飲用に適さないものとなっている可能性があるものと存じます。

このため、渇水時における井戸水の飲料水水質検査の減免は、市民生活への影響を少しでも軽減するため、井戸水の安全性確保と利用促進を目的に緊急避難的な対応として実施しているもので、水質検査の減免を、通常時にも適用する予定はございません。以上です。

○議長（土井会長） はい、どうもありがとうございました。続きまして、自主防災組織等育成事業と避難所の充実について、消防局予防課お願いします。

○山本消防局予防課長 消防局予防課の山本でございます。項目番号2、消防・防災体制の整備のうち、自主防災組織等育成事業について御説明申しあげます。

本市では自主防災組織等育成事業として、地域コミュニティ協議会等が、小学校区等を単位として自主的かつ主体的に行う実践的な防災訓練の実施に要する経費を対象として補

助金（上限70万円，1校区につき1回限り。）を交付する，高松市自主防災力強化事業補助金交付事業を実施しております。

この高松市自主防災力強化事業を積極的に推進し，地域コミュニティ協議会等が，訓練で使用する防災資機材を購入し，小学校区等を単位として自主的かつ主体的に行う実践的な防災訓練を実施して，地域の防災力の向上を図ってまいりたいと存じます。

続きまして，避難所の充実について御説明申しあげます。

現在，合併町地域も含め，防災行政無線のデジタル化を進めているところですが，これに合わせて，コミュニティセンターや小・中学校など指定避難所に戸別受信機を整備することとしております。

また，地域の被害情報などの収集には，各コミュニティセンターや支所が核となると考えておりますことから，現在，支所に設置している移動系の無線機について，今後，コミュニティセンターにも設置していくことを検討する必要があるものと考えております。避難者が利用できる電話設備についても，検討してまいりたいと考えております。

予防課からは，以上でございます。

○議長（土井会長） はい，どうもありがとうございました。続きまして，「讃岐国分寺跡」周辺の景観形成について，都市計画課お願いします。

○中谷都市計画課長補佐 議長。

○議長（土井会長） はい，お願いします。

○中谷都市計画課長補佐 都市計画課の中谷です。項目番号3，「讃岐国分寺跡」周辺の景観形成について，御説明させていただきます。

本市の景観施策の指針である美しいまちづくり基本計画では，国の特別史跡である讃岐国分寺跡は，固有の歴史・資源を今に伝える重要な歴史的景観資源とし，その周辺地区と一体となった景観形成を図ることとしております。

また，景観計画では，特に重要な景観資源を有する地区等を，景観形成重点地区として指定し，具体的な誘導基準を設け，規制・誘導を図ることができるとしており，新たな景観形成重点地区の指定については，住民自らが自分たちの住むまちづくりについて考え，地区の魅力を活かした美しいまちづくりを進めていく上で，景観に関するきめ細やかなルールづくり等を行う場合には，地区住民の意向を踏まえた上で，指定を検討することとしております。

○議長（土井会長） どうもありがとうございました。ただいまの項目番号1から3の説

明に関して、御質問、御意見等ございましたら、御発言を願います。

なお、質問は、説明をいただいた項目順に行います。まず、項目番号1、井戸の整備促進事業について、御質問、御意見等がありましたら、お願いいたします。

○小松委員 はい。

○議長（土井会長） はい、小松委員。

○小松委員 小松でございます。節水対策の推進につきましては、前段と後段の二つの意見をセットにして出しております。したがって、前段の方について、再度、意見を申し述べたいと思います。

回答を伺いますと、給水区域外に対する現行補助制度を説明されただけでありまして、いきなり、当方の意見を否定しているように見受けられます。

当方の意見の主旨は、事業の内容をよく読んでいただけますとわかりますように、毎年問題になっている渇水。それから、最近言われています、震災時に生じる恐れがある断水を想定しての話であります。

したがって、給水地域においても、井戸の整備促進のための補助制度を新設することを切望しているわけでありまして。そのようなことから、このたびの回答は、回答になっていないのではないかと思いますので、再検討をいただきたいと思います。

○小路環境局次長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○小路環境局次長 環境総務課の小路です。我々環境局は、衛生上の浄水とその浄水が給水されていない区域を担当しています。

渇水対策を踏まえて、井戸の有効活用を検討してはどうかという御指摘でございますので、それらを担当課に伝えるとともに検討していきたいと思っています。

○議長（土井会長） 他にありませんか。無いようなので、続いて項目番号2、自主防災組織等育成事業と避難所の充実について、御質問、御意見等ございましたら、御発言を願います。はい、末澤委員。

○末澤委員 末澤です。事業の内容の中で、防災意識や自主防災組織率についての記述がありました。このことについて、少し説明をお願いできればと思います。

また、今月の17日に北部校区の防災訓練を開催し、その時にも、水バケツリレーの訓練を行いました。地震の発生時には、すべてに被害が発生しますので、はたして、水バケツリレーの効果があるかどうかは疑問です。同時に、多くの方が消火器の選定や操作につ

いての知識が低く、自分自身を守っていくのに不安を感じていますので、そのあたりの対応についてお尋ねします。

○山本消防局予防課長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○山本消防局予防課長 消防局予防課の山本でございます。まず、一点目の事業の内容についての御質問です。これは行政の方から提示したのではなくて、地元の方から検討していただきたいということで、提出されたものと理解しております。行政としては、御指摘のあった防災意識が一向に高まらないとか、自主防災組織率が市の平均を大きく下回っている状況なので、それらの対応をお願いしたいという提案があったということで受け止めております。

次に、二点目の水バケツリレーと消火器についての御質問です。行政の力、消防力というのは、通常時を想定した時の戦力でございます。災害の発生時については、自分の命は自分で守っていただくということで、自助・共助に関するできるだけの訓練をしていただき、それらを指導しているのが現状でございます。以上でございます。

○末澤委員 ちなみに、自主防災組織率の市の平均はどのぐらいですか。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○山本消防局予防課長 自主防災組織率は、活動カバー率という形で表示されておりました、市の平均は、77.9パーセントでございます。国分寺北部校区と南部校区につきましては、この数字を下回っているのが現状でございます。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○末澤委員 市議会の委員会を傍聴していると、市役所の西側に、平成30年度までに予算80億円で危機管理センターが建設されるとお聞きしました。危機管理センターが建設された場合には、市長はここを拠点とし市全域を守るようになりますが、消防部門としては、国分寺地域に対してどのような支援を行うことになりますか。

○山本消防局予防課長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○山本消防局予防課長 消防局予防課の山本でございます。危機管理センターにつきましては、上下水道局、消防局、危機管理課等が入居し、防災対策本部として市全体の情報を収集し、そこから指令を出すという形になりますので、国分寺地域も市の一つの地域として情報を収集し、ここから必要な支援を出すという形になります。

○末澤委員 私が聞きたいのは、コミュニティや国分寺支所長など、どこを通じて指令が下りてくるのかという点です。

○河西総務局次長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○河西総務局次長 危機管理課でございます。危機管理センターに、常設の防災対策本部を設置して平成30年度に稼働するという主旨は、高松市民はもとより、南海トラフ地震が起きた際に、香川県高松市に政府の県对本部が設置されるということで、高松市、香川県を早期に復旧した後に、高知、徳島に対しての支援活動を開始するということが、大きな目標でございます。

高松市の体制といたしましては、支所、コミュニティセンターなどの組織のどちらをどういう命令系統でという、縦割りの考えは基本的にはもっておりません。消防系統、支所系統、避難所支援班のコミュニティ組織などの組織が、いろいろな活動をそれぞれが開始していくものと思っています。

そういう意味では、今回答弁にありますように、コミュニティセンターや支所との情報通信系統、消防無線、消防団舎の無線など、それらをすべて活用して対応していくということです。以上でございます。

○議長（土井会長） 他にありませんか。はい、佐々木委員。

○佐々木委員 佐々木でございます。事業の内容を提出したのは私ですが、うまく表現できていないところもあります。

先ほどの末澤委員さんから報告があったとおり、11月17日に北部校区の防災訓練を実施いたしました。その際は、対応方針にある制度を活用させていただき、訓練の用品等を購入し、訓練に臨みました。昨年に訓練を開催し今年にいたるまで、訓練を通じて防災意識を高めようと考えていたのですが、地域の方の防災意識の高まりが鈍いように感じました。

この訓練の中で一番感じたことは、今この地域にとっては、地震に対する対応が必要であるということです。今回購入した用品関係は、通常の防災訓練（水消火器、バケツリレー、炊き出し）に関するものであり、地震に対する用品は見当たりませんでした。東南海地震の脅威については、住民の方の意識も高く、今回の訓練において、起震車をお願いしようと考えていたのですが、他の地域と重なり用意することができませんでした。

市の方をお願いしたいことは、できれば県と市が共同して、起震車の数を、もう少し増

やしてもらいたいと思います。現在、県には起震車が一台あるそうです。住民は地震に対する脅威は感じておりますので、それらを活用して訓練を実施すれば、防災意識が高まっていくと考えられます。

それと、今回、70万円という高額な補助金をいただいたわけですが、多くの方が参加するようになれば大型の訓練機材も必要になってきます。現在では、一コミュニティで準備する機材についても限界がありますので、それらについては、コミュニティ協議会のブロック単位とか市の方で調達し、訓練時に利用できる仕組みをつくっていただければと思っています。

今回は、消防局や上下水道局の協力を得ながら訓練計画を立てました。今後は、幅広い訓練がもてるように、市の方で、いろいろな案を提示していただきたいと思います。そして、それらを実施することにより、住民の意識高揚が図れるのではないかと思います。

○山本消防局予防課長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○山本消防局予防課長 消防局予防課の山本でございます。起震車につきましては、香川県の方が一台保有しており、この一台を県下のすべての自治体が予約を取って訓練に使用しています。この貸出予約が困難なことは十分承知しておりますので、起震車の増車等につきましては、県の方と協議して進めてまいりたいと思います。

また、大型の訓練機材の整備につきましては、今後どのようなものが購入できるかというところで、検討してまいりたいと思います。

○塚田委員 はい。

○議長（土井会長） はい、塚田委員。

○塚田委員 塚田です。避難所の充実について、お聞きします。

対応方針の中に、コミュニティセンターへの無線機と電話設備の設置について検討とありますが、実施はいつ頃になる予定ですか。

○河西総務局次長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○河西総務局次長 危機管理課でございます。移動系の無線機につきましては、現在支所の方に配置しておりますが、かなり老朽化しており、今年度から、随時、新タイプのものに入れ替えていくことにしております。

そして、来年度、26年度に庁内で検討会をもちまして、どういう施設に必要であるか。

また、通常の業務にどれぐらい併用して使用できるのかということを検討しまして、具体的には、平成27年度から配備を進めていくことにしています。

それから避難者が利用できる電話設備は、俗にいう特設公衆電話というものでございます。御存知のとおり、災害時に固定電話の通信規制が入った場合にも、公衆電話回線は災害時優先電話として、つながる確率が高い電話回線でございます。

今後、災害時だけの特設公衆電話というものを、避難所に工事をしていこうという計画でございます。ただ、この工事につきましては、市が費用負担をしたら設置されるものではなくて、NTTさんの御協力を取り付ける必要がございます。市の方としましては、できれば今年度中に計画のすり合わせを行いまして、できるところから着手したいと考えています。

○塩崎委員 はい。

○議長（土井会長） はい、塩崎委員。

○塩崎委員 塩崎です。11月17日に北部校区の防災訓練がありました。国分寺町には、南北小学校の敷地内に、緊急遮断弁付防火水槽が一台ずつ設置されています。地震が発生したときに、自動的に弁が閉まり水が溜まるもので、3日間ぐらい使えます。

去年も実施しましたが、よく分からなかったから今年はきっちりやりましょうということで、市の上下水道局にきていただき、説明をうけながらやりました。

そして、マンホールの中に、地震が起きて水が遮断されたときに、パイプでつないでホースから水がでる装置があるのですが、ここに1メートルぐらいの水が溜まり、錆びて使用できず、現実には、水が出せない状況になっていました。ここに写真がありますので、皆さんも御覧ください。このことは、たまたま訓練があったから分かったもので、早急に修理をしなければなりません。

国分寺町時代には水道課があり、北部校区については水源地の事務所に道具を置いてあったので、錆びることもなく使用することができました。合併後は、緊急時に使用できなかったら困るので、道具すべてを、マンホールの中に入れてありました。

では、現実には震災が発生したときに、上下水道局の職員が、十何か所もある緊急遮断弁付防火水槽まできてくれるかということ、多分、難しいだろうと思います。

来月12月にも、南部校区の防災訓練が実施されますが、そのときについても、開けてみようと思います。多分、ここも水が溜まり使用できない状況だろうと思います。

現在、器具の管理については、多分、上下水道局が管理していると思います。しかし、

今後は、地元の消防団かコミュニティ協議会などに管理をまかせ、すぐにもっていけるような状況にしておかないといけないと思いますので、管理先の検討をお願いします。急な質問なので、分かる範囲で結構です。

○河西総務局次長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○河西総務局次長 危機管理課でございます。訓練、お疲れ様でした。国分寺北部小学校の現状は、ただいま説明があったとおりでございます。

訓練終了後、上下水道局の方から、学校や公園にある耐震性貯水槽につきましては、今後、すべての器具を、地上保管に移行していくという対応策をお聞きしております。

今お話があった遮断弁のマンホール開閉レバーについては、上下水道局にもありますし、地元の消防団の方もおもちであると聞いております。今後は、消防団と部品の保管や開閉作業などについて、協議していくことになることをお聞きしています。

○議長（土井会長） 他にありませんか。無いようなので、続いて項目番号3、「讃岐国分寺跡」周辺の景観形成について、御質問、御意見等がございましたら、御発言を願います。

○佐々木委員 はい。

○議長（土井会長） はい、佐々木委員。

○佐々木委員 佐々木でございます。事前に連絡していなかったもので、要望ということでお願いします。

特別史跡讃岐国分寺跡は、非常に価値ある史跡の一つということで、町時代から、かなりの費用をかけて整備しています。そういった関係で、ここのイメージを高めていくために、地元の住民の方や地元の寺院との協調を図りながら、総合的な形で景観を保っていただき、保存してもらいたいと思っています。

特に、町時代から、地元の寺院と話し合いの折りが十分ついていないということもありますが、今後、粘り強く進めていただきたいと思います。このことは、要望として聞いてもらって結構です。

○中谷都市計画課長補佐 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○中谷都市計画課長補佐 都市計画課の中谷です。ただいまの御要望も含めまして、この景観計画に示してありますとおり、地区住民の意向を踏まえた上で、指定に向けた検討を進めることとしておりますので、御理解を賜りたいと思います。

○議長（土井会長） 他にありませんか。無いようなので、引き続きまして、項目番号4より、順次、説明をお願いいたします。では、項目番号4、県道中通線拡幅整備について、お願いします。

○石垣都市整備局次長 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○石垣都市整備局次長 道路課の石垣です。項目番号4、県道中通線拡幅整備について、御説明させていただきます。

県道国分寺中通線の道路拡幅につきましては、県に対し、要望してまいりましたが、国分寺支所も含め地権者等地元関係者の協力が得られる場合は、今後、調査・検討を進めたいと伺っております。

本市といたしましては、国分寺地域の円滑な都市交通の確保を図る上で、当該路線の整備は重要と考えておりますことから、引き続き、県に対し要望してまいりたいと存じます。

○議長（土井会長） はい、どうもありがとうございました。続きまして、JR端岡駅周辺整備計画の策定と事業の推進について、お願いします。

○岡田都市計画課長補佐 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○岡田都市計画課長補佐 都市計画課の岡田です。項目番号5、JR端岡駅周辺整備計画の策定と事業の推進について、御説明させていただきます。

JR端岡駅は、本市の西部地域の拠点となる国分寺地域の主要駅として、重要な役割をはたしているところでございますが、改札口が北側のみとなっていることから、駅の利便性の向上を図るため、南側への改札口の設置や、それにアクセスする道路や駅北側の整備など、駅周辺における新たなまちづくりが、旧町時代からの懸案事項となっております。

現在のところ、整備計画を策定するまでには至っていない状況でございますが、駅周辺整備の具体的な進展を図るため、北側と南側に分けて、地元自治会と地権者等との話し合いが進められているところでございます。

今後とも、駅利用者および地元関係者等の意見を反映し、地元住民の合意が得られる整備の在り方等について、引き続き協議会等を中心にして御検討いただくとともに、本市としても必要な支援等に努めてまいりたいと存じます。

○議長（土井会長） はい、どうもありがとうございました。続きまして、国分寺支所の総合センター（仮称）化への推進について、お願いします。

○松崎人事課主幹 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○松崎人事課主幹 人事課行政改革推進室の松崎です。項目番号6，国分寺支所の総合センター（仮称）化への推進について、御説明させていただきます。

平成24年11月に策定した「地域行政組織再編計画基本構想」において、現在の本庁と支所・出張所という二層構造を、本庁・総合センター（仮称）・地区センター（仮称）の三層構造に再編することとし、このうち総合センターについては、市域を7つの所管区域に区分し、それぞれの区域に本庁を含め計7か所設置することとしております。

この総合センターの設置位置につきましては、取り扱う業務の内容や組織・人員体制も含め、今年度策定予定の「地域行政組織再編計画」において定めることとしており、その検討過程において、総合的に考えてまいりたいと存じます。

○議長（土井会長） どうもありがとうございました。ただいまの項目番号4から6の説明に関して、御質問、御意見等ございましたら、御発言を願います。

それでは、まず、項目番号4，県道中通線拡幅整備について、御質問、御意見等がありましたら、お願いいたします。

○末澤委員 はい。

○議長（土井会長） はい、末澤委員。

○末澤委員 末澤です。県道国分寺中通線は、高松国分寺ホールがオープンすれば、かなりの交通量になり大渋滞になることを予測していました。しかし、ホールの利用率の低さの影響もあり、心配したほどの混雑はありませんでした。

そうすると、現実問題として、この路線の拡幅の必要性が薄れてきたような感じがします。また、これまで長期間お願いしてきましたが一向に進まないことから、今後は、支所の東側、県道と国道の交差点の交通事故対策に力を注いではどうかと思います。そのあたりのことについて、お願いします。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○石垣都市整備局次長 道路課でございます。県道と国道との交差点になりますので、直接、市の道路課としては対応できません。

しかし、交差点の交通事故対策につきましては、市の交通安全対策室の方にお伝えし、対応策をお願いしたいと思います。

○議長（土井会長） 他にありませんか。無いようなので、続いて項目番号5，JR端岡

駅周辺整備計画の策定と事業の推進について、御質問、御意見等がございましたら、御発言を願います。

○末澤委員 はい。

○議長（土井会長） はい、末澤委員。

○末澤委員 末澤です。南口が思うように進まず、北口の整備を進めている現在、関係者を集めて意見を交わしたり、アンケートを取った後に市の方で具体的なプランを作成し、その後で提示した方が進みやすいのではないのでしょうか。私は、これまで駅周辺の多くの方とお会いしましたが、やはり、協議会の方だけでなく、直接、関係者の多くの方から、意見をもらった方がよいと思います。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○岡田都市計画課長補佐 都市計画課の岡田と申します。具体的なお話や関係者の御意見を伺う機会などは、第1段階として、地元の協議会の代表の方と相談を行い、その場において、これからの進め方などを協議させていただいております。

事業の進め方でございますが、この事業につきましては、市の方でこのような案を作成しましたというのではなくて、地元の方からの発案という形を取らせていただいております。発案を尊重していくことにしています。

○議長（土井会長） 他にありませんか。はい、佐々木委員。

○佐々木委員 佐々木です。事業の内容については現在の状況のことであり、私自身も、「現在も前進していない現状にあり、現在の取組体制には限界を感じる」ということに同感です。地元では、どの程度の予算でやったらいいかということも知らされず、計画を作成してくださいということは、非常に難しいことでもあります。

J R 端岡駅周辺整備計画の策定と事業の推進は、高松市西部地域の玄関口を整備するという事業と位置づけて、市が先頭に立って取り組んでいただきたいと思います。地元や地元の協議会において、構想の検討や計画案を作成してもらいたいということは、絶対無理なことでもあります。地元の協議会は、市が計画案を作成した後、それに基づく地元との協議が必要な場合には協力することができます。

そういった意味で、最後にありますように、「市の最重要事業として公共交通利用促進に向け、より積極的に取り組んでいただきたい」という言葉になっています。

○議長（土井会長） 他にありませんか。無いようなので、続いて項目番号6、国分寺支所の総合センター（仮称）化への推進について、御質問、御意見等がございましたら、御発

言を願います。

○□井委員 はい。

○議長（土井会長） はい、□井委員。

○□井委員 □井と申します。関連質問になりますが、支所の効率化と機能整備についてお聞きします。

今年の夏は猛暑であり、その頃の7月5日から、参議員選挙の期日前投票が支所で行われました。そのときから、国分寺支所全館のエアコンが故障し、盆の8月15日になっても、まだ、修復できていませんでした。その間、住民サービスは低下するし、一番大変だったのは、選挙事務に従事した方や支所を利用された方、また、職員だったと思います。

要は、支所の効率化と機能整備と言いながら、1か月以上も修理ができない状態について、本庁の方たちは分かっているのでしょうか。また、国分寺町は忘れられているのではないかという思いを一住民として感じました。これが本庁だった場合、多分、短期間で修理できていただろうと思いました。

結局、片一方では総合センター（仮称）化や他の業務ではお願いしている状況ですが、もう片方では、置き去りにされているような感じなので、全般的に、もっとスピーディにやっていただきたいという思いがします。できましたら、加藤局長をお願いします。

○議長（土井会長） 加藤局長、お願いします。

○加藤市民政策局長 市民政策局の加藤でございます。まず始めに、今年の夏エアコンが故障いたしまして、本当に多大な御迷惑をおかけしましたことについて、お詫び申しあげたいと思います。

決して置き去りということではなくて、故障の連絡をうけまして、早期にどういったことができるかということについて、専門家を交えて協議をいたしました。そして、原因究明策などについて、どうすれば早期に応急的にも復旧できるかを検討いたしましたが、結果的に、適切な対応策が見つからず遅くなりました。今後におきましては、日常的な保守点検を十分行い、このようなことが起こらないようにしてまいります。

ただ、決して、国分寺地区をどうこうということではございません。むしろ、私たちといたしましては、西部地区の拠点として重点的に取り組んでおりますので、その点は、御理解をいただきたいと思っています。

○議長（土井会長） 他にございませんか。はい、塚田委員。

○塚田委員 塚田です。建設当時、支所の空調は水冷式だったと思いますが、今回の修理後

は、空冷式に変わったのですか。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○谷本国分寺支所長 国分寺支所の谷本でございます。今の御質問でございますが、今回は、空調の不具合を解消するために、外部の配管を交換する修繕を行いました。水を冷やして全館を冷やす方式に、変更はございません。

○塚田委員 聞くところによりますと、水冷式は時代遅れなので、すぐに故障するという声もあります。今後、空冷式に変更していく対策も考えられていますか。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○谷本国分寺支所長 皆さんも御承知のとおり、築25年経過しておりますので、機器の方も老朽化が進んでおります。現在、本課も交えまして、どのように改修していくか、今後の対策について検討しているところでございます。よろしくをお願いします。

○塚田委員 関連になるかどうか分かりませんが、先日、高松市の方で仕分けという話がでており、その中に保健センターという項目がありました。保健センターには、国分寺の保健センターも入っているのですか。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○松崎人事課主幹 主管課ではありませんが、今分かっている情報でよろしければ、その内容をお伝えしたいと思います。

仕分けと申しますのは、公開施設評価という名前で、現在の高松市の公共施設を評価していこうという試みでございまして、全国初として、この日曜日に本庁の方で行う予定でございます。

当日は、四種類の施設を予定しておりまして、一つが保健センター。後、温浴施設とスポーツ施設等の四つのカテゴリーに分けて実施する予定でございます。そして、保健センターについては、国分寺の保健センターも含めまして、全市域的に評価していくものとお伺いしています。

○議長（土井会長） 他にありませんか。

○末澤委員 はい。

○議長（土井会長） はい、末澤委員。

○末澤委員 末澤です。初歩的なことになりますが、一言で言えば、総合センター（仮称）とは、どのようなことですか。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○松崎人事課主幹 現在、高松市においては、機能が本庁に集約されておまして、これから高松市でも高齢化が進み、高齢化社会を迎えようとしています。そうしたときに、本庁に行かなければ何もできないということでは、住民が求める行政サービスの提供について適切ではないと考えられます。

そこで、総合センター（仮称）を市内に何か所かに設けて、そこでは、全市民を対象として、今の支所で行っているサービスを、もっと拡張して提供したい。今の支所で行っているサービスプラス拡張したサービスが提供できることを考えています。以上です。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○末澤委員 拡張したサービスとは、どのような内容ですか。

○松崎人事課主幹 まだ、具体的に決定していない段階なので、はっきりしたことは説明できませんが、検討しているものとしては、出生や死亡・引越しなど、市民の方にとって、一生に何度かしかないものについては、できるだけ総合センター（仮称）の方で、すべての手続きを対応してもらいたいと考えています。

それから、今後、高齢化社会が進んでくると思いますので、相談的機能を充実させていきたいと考えています。

また、市内に何か所か整備しますので、ネット社会ではあるのですが、市政情報の発信基地として、現在の市の取組状況が一目で分かるようにしておきたいと思います。

後、身近な例としては、道路の簡易な修繕があります。これについても、現在、本庁から出向いて対応しているところが多いと思いますが、現地調査や応急対応については、地元で行うことが合理的であると思いますので、今後、検討してまいりたいと思います。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○末澤委員 西部南地域の総合センター（仮称）の候補地としては、国分寺支所は、以前より、かなり有力であるとお聞きしています。この選定については、どのようなところで、どのようにして協議していくのですか。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○松崎人事課主幹 地域行政組織、支所・出張所の再編につきましては、市の方で検討しているものでございます。市の方で案を作成し、その後、議会や市民の方にお示ししてから御意見をお聞きしたいと思っています。

なお、西部南地域につきましては、国分寺と川岡と円座と檀紙の四つの地域の中の一地域に、総合センター（仮称）を整備するものでございます。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○末澤委員 総合センター（仮称）が国分寺に決定した場合、円座の方が反対するという声も聞いています。仮に、設置された場合のメリットと設置されなかった場合のデメリットとはどういうことがありますか。具体的にお願います。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○松崎人事課主幹 まだ、設置する場所も決まっておりませんので、具体的な内容も決まっておりません。

現在、市内に支所・出張所が28か所ありますが、今回は、既存の支所・出張所を再編することであって、これらを廃止するという考えはございません。

また、出張所につきましても、今の住民サービスを継続していく予定でありまして、どの地区についても、現在のサービスを低下させないような形を考えております。

○議長（土井会長） 特に御発言が無いようでございますので、以上で、会議次第3の議事については、終了いたします

#### **会議次第4 その他**

○議長（土井会長） 次に、会議次第4のその他であります。委員の方で、地域審議会として何か諮りたいことがございましたら、御発言をお願いします。

○川染委員 はい。

○議長（土井会長） はい、川染委員。

○川染委員 川染です。資料2の3番、「讃岐国分寺跡」周辺の景観形成に戻ります。

対応方針の最後の方に、「景観に関するきめ細やかなルールづくり等を行う場合には、地区住民の意向を踏まえた上で」とありますが、細やかなルールづくりについては、住民の方から意見を出していくことは可能であるという意味でしょうか。

○中谷都市計画課長補佐 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○中谷都市計画課長補佐 都市計画課の中谷です。景観計画の中でうたっているきめ細やかなルールと申しますのは、高松市の場合、高松市全域で基準を設けていますが、その中で重点地区を設け、そこでは、例えば、他の地域より、届出が必要な規模を少し厳しくして審査を実施したり、色の関係についても、使用できる色を制限していくような意味でございます。

そして、地区住民の意向を踏まえた上で書いてありますが、本日の審議会でいただいた御意見なども含めまして、実際のルールづくり等を行っていくのは景観審議会でありまして、そちらの方の御意見も聞きながら、進めていく流れになっております。以上です。

○川染委員 はい。

○議長（土井会長） はい、川染委員。

○川染委員 景観審議会での流れや対応状況については、事前に連絡していれば、この場でお示ししていただけるのですか。

○中谷都市計画課長補佐 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○中谷都市計画課長補佐 都市計画課の中谷です。景観審議会での流れみたいなものについては、この審議会でお質問いただければお答えできるかと思えます。

○議長（土井会長） 他にございませんか。はい、佐々木委員。

○佐々木委員 佐々木です。平成24年度に、ため池の耐震調査とハザードマップの作成についての説明を受けましたが、その後の耐震調査の進捗状況とマップづくりについてお聞きします。

既に、10万トン以上の池のハザードマップはできていると聞いていますが、それが事実かどうか。もし、できているのであれば提示していただきたいと思えます。というのも、現在、ハザードマップを基に、防災マップの作成も考えていけたらと思っておりますので、その点についてお願いいたします。

○安徳土地改良課長補佐 議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○安徳土地改良課長補佐 土地改良課の安徳と申します。まず、ため池の耐震調査でございますが、現在、県におきまして、貯水量10万トン以上のため池を対象に、耐震調査を実施しているところでございます。貯水量10万トン以上のため池は、県下で119か所あり、そのうち高松市内には45か所あります。その中で、安定計算が終わっているため池3か所を除いた42か所において、24年度より実施しております。

なお、当国分寺地区につきましては、25年度は、大池、宮池の2か所で現在実施中でございます。また、26年度は、新池、神崎池、関の池、羽間池の4か所で実施する予定と伺っています。

次に、ハザードマップでございますが、平成23年度より、貯水量10万トン以上のた

め池45か所と10万トン以下ではありますが関連性の深い3か所を合わせた48か所で、ハザードマップを作成する予定です。

なお、当国分寺地区につきましては、貯水量10万トン以上のため池が7か所あり、そのうち橋池については、平成23年度にハザードマップの作成を終えております。その成果等につきましては、24年度に国分寺南部校区コミュニティ協議会を通じまして説明会を行い、紙ベース・電子データでの成果をお渡しし、現在は国分寺南部校区コミュニティセンターに掲示していると伺っております。

また、25年度は、大池、宮池、新池、神崎池、関の池、羽間池の6か所について現在作成中であり、年度末の3月31日までには完成する予定でございます。

そして、完成後の26年度には、順次、地域のコミュニティ協議会に成果説明を行いたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（土井会長） はい、佐々木委員。

○佐々木委員 私が、少し勘違いしておりました、すべての作成が、平成24年度までに終了していたものと思っていました。25年度終了ということであれば、完成次第、成果の説明をいただければと思います。

○議長（土井会長） 他にございませんか。

○塩崎委員 はい。

○議長（土井会長） はい、塩崎委員。

○塩崎委員 塩崎です。先ほどの自主防災組織等育成事業に関連して、少し、述べさせてもらいます。

先ほど、防災意識が一向に高まらずとありましたが、連合自治会やコミュニティ協議会、西消防署国分寺出張所や私が所属している消防団などを通じて、機会あるごとに自主防災組織の設立をお願いしてきました。結果としては、結成率は低いままであり、高松市の平均が7割の後半ぐらいとしますと、国分寺の両校区とも2割から3割程度であり、かなり低い校区になっておりますことから、こういう文章になっているのだらうと思います。

それと、バケツリレーの話があり、現実問題として、役に立たないという意見もありました。しかし、神戸の震災のときは、ほとんどが、地元の人バケツリレーで消火されました。神戸市は土地が高いため、防火水槽の大部分をやめて、消火栓で対応していましたが、地震ですべてが使用できませんでした。このような状態のとき、地元の人バケツリレーで消火し、助かった人も結構いました。助かった人間の割合でいくと、神戸市の場合、

住民が助けたのが6割程度だったと思います。

現実には、消防局や消防団はありますが、その活動内容は限られています。バケツリレーは、見た目は悪く、普段の火災時にはあまり行いませんが、震災時には有効な手段と考えられますので、防災訓練のときには、訓練をする必要があると思います。

#### 会議次第5 閉会

○議長（土井会長） 他に無いようでございますので、以上で、本日の会議日程はすべて終了いたしました。

皆様方には、長時間にわたり御協議を賜り、また、円滑な進行に御協力をいただき、誠にありがとうございました。

○事務局（宮武和） これをもちまして、平成25年度第2回高松市国分寺地区地域審議会を閉会いたします。

大変お疲れ様でございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

午後3時55分 閉会

---

会議録署名委員

委員 小松 澄男

委員 塩崎 孝博